

授業概要 (シラバス)

■科目基本情報		専門学校日本ホテルスクール	
科目番号	MS501	分類	講義科目
授業科目名	ブライダル総論1	英文授業科目名	Bridal Business Overview I
年度	2024年度	年次	昼間部 1年 ブライダル科
開講学期	前期	授業の方法	講義
単位数	1単位	年間授業時間数	14.4時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	12コマ
担当教員名	大野 渚	実務経験あり	
経歴	2014年専門学校日本ホテルスクール卒業後、ゲストハウス運営を行う企業に入社。ウェディングプロデューサー、チーフウェディングプロデューサーとして3会場300組以上を接客。プロデューサー業務と並行し新卒採用の面接官や、新入社員のOJT研修業務経験の後、本社マーケティング部に異動。現在は同グループでチーフとして会社全体の集客数増加・来館率向上に向け全国23会場のマーケティング業務と、来館前の事前架電の品質向上に向け教育業務に従事。		
■授業・科目情報			
学習目標	ブライダル全般の基本的な専門知識を総合的に学習します。日本の婚礼文化の成り立ちや慣習、挙式スタイル、結婚披露宴スタイル、披露宴の進行と演出など理解を深めることはもちろん、日本のみではなく西洋の慣習や由来も学び、トレンドが変わっても左右されない、十分な基礎知識の習得を目指します。		
教科書	「ブライダル総論」財団法人日本ホテル教育センター		
授業計画	回数	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	近年の結婚式のトレンド	
	3	4つの挙式形態[概論]	
	4	4つの挙式形態[キリスト]	
	5	4つの挙式形態[人前]	
	6	4つの挙式形態[神前]、(日本の慣習・由来)	
	7	4つの挙式形態[仏前]、(日本の慣習・由来)	
	8	西洋の慣習・由来①	
	9	西洋の慣習・由来②	
	10	披露宴の流れ①	
	11	披露宴の流れ②	
	12	前期試験	
授業の進め方	「ブライダル総論」のテキストに沿って概論を中心に講義。ワークを取り入れながら理解度を深める。		
試験の実施方法	前期1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	『ブライダル総論1』『ブライダルマネジメント』『ブライダルマーケティング&セールス』		
参考書	「ブライダル総論」「ブライダルの装美と演出」財団法人日本ホテル教育センター 「アシスタント・ブライダル・コーディネーター」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会		
学生へのメッセージ	ブライダル全般についての基本的な知識を総合的に学習する科目です。日本、西洋のブライダルの歴史と慣習を学びます。主に日本で広く普及している挙式のスタイル、結婚披露宴のスタイル、披露宴進行と演出などの理解を深めることで、トレンドや時代に左右されない基礎知識を身につけます。		